

2007年4月1日～2019年3月31日の間に 当院において医師支援制度に関するアンケートを受けられた方へ —「岡山大学復職支援制度利用者と勤務する医師の制度および制度利用者への認識に関する 縦断調査」へご協力のお願い—

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

研究機関長 那須 保友

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座 教授 片岡 仁美

研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座
医療人キャリアセンターMUSCAT 助教 渡邊 真由

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

優秀な人材を確保するための有効な方法としてダイバーシティは推進されており、そこで生まれる組織内の多様性が有効に作用するには、直属の上司や同僚・後輩との関係も重要である。女性医師の割合が増加していく中で（女性医師の割合は3割）、人材プールを「男性」のみとすることは優秀な人材の漏出でもあるが、男性のみから女性にも人材の母集団を拡大することが、働き方改革で推進される長時間労働の是正につながるという側面も持つ。出産・育児・介護等のライフイベントによる女性医師の離職防止、復職支援のためキャリア支援事業が開始され5年目（2011年）に支援制度および支援利用した医師（支援利用医師）に関するアンケートを、支援利用医師と業務を行った医師（スタッフ未満・助教・講師・准教授・教授）に行っており、11年目（2018年）を迎える今年度に再度別紙アンケートを行い支援制度への認識や今後の展望を検討する。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

研究成果により支援利用医師が組織において有効に能力を発揮するために必要な因子を解明することができ、優秀な人材の確保、長時間労働の是正に貢献できる可能性がある。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2007年4月1日から2019年3月31日の間に復職支援制度を利用した医師と、復職支援制度を利用した医師がいる医局の医師を対象とする。

2) 研究期間

2018年10月12日～2020年3月31日

3) 研究方法

2007年4月1日から2019年3月31日の間に復職支援制度を利用した医師と、復職支援制度を利用した医師がいる医局の医師の方で、研究者がアンケートのデータから、支援制度に関する認識や今後の展望について調べます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、2011年にすでに施行されているアンケートのデータと2018年に施行予定のアンケートのデータを使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院医療人キャリアセンターMUSCAT内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2019年4月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
地域医療人材育成講座 医療人キャリアセンターMUSCAT
助教 渡邊 真由
〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1 地域医療人育成センターおかやま 2F
TEL 086-235-6963 FAX 086-235-6834 Email: mayu-w@okayama-u.ac.jp